

# 授業科目 評価学演習 II

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学
榎木 利英子、星 孝、菅原 和広		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60 (中枢神経系：20)
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】					
中枢神経疾患の全体像をよりの確に捉えるために、必要な検査・評価方法を修得する。また事例を使用し、評価項目を検討し口頭で結果の説明ができる。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>姿勢評価の意義を理解し、実施できる</li> <li>動作分析（基本動作）の意義を理解し、実施できる</li> <li>動作分析（応用動作・歩行動作）の意義を理解し、実施できる</li> <li>片麻痺運動機能検査の意義を理解し、実施できる</li> <li>筋トーン検査の意義を理解し、実施できる</li> <li>協調性検査の意義を理解し、実施できる</li> <li>バランス検査の意義を理解し、実施できる</li> <li>脳卒中ケース評価視点のひとつに運動耐用能があることを理解する</li> <li>グループワークにおいて積極的に取り組める</li> <li>評価を行うためのオリエンテーションが適切に行える</li> <li>病的反射の実施が行える</li> <li>中枢神経系疾患患者の筋力について理解する</li> <li>疾患の評価に対する討議およびグループ学習をおこない、患者状況を表現できる。 また演習実技試験および筆記試験によって実力度の評価を行う</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	姿勢の評価		1, 5, 6, 7, 10	演習 担当：星、担当：星 孝	
2	動作分析（基本動作）		2, 5, 6, 7, 10	演習 担当：星、担当：星 孝	
3	動作分析（応用動作・歩行）		3, 5, 6, 7, 10	演習 担当：星、担当：星 孝	
4	片麻痺運動機能検査		4, 10	演習 担当：星、担当：星 孝	
5	筋トーン検査		5, 10	演習 担当：星、担当：星 孝	
6	協調性検査		6, 7, 10	演習 担当：星、担当：星 孝	
7	軽度脳卒中患者に対する運動負荷の観点からの検査		8, 10	演習 担当：星、担当：星 孝	
8	病的反射		10, 11,	演習 担当：星、担当：星 孝	
9	中枢神経疾患の評価の筋力測定		12, 13	演習 担当：星、担当：星 孝	
10	中枢神経疾患の評価に対する討議およびグループ学習（2）		1～13	演習、グループ討議 担当：星、担当：星 孝	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		診察と手技が見える 1 第2版	古谷 伸之	メディックメディア	2010・6,000円+税
		シンプル理学療法学シリーズ 理学療法評価学 テキスト	細田 多穂	南江堂	2010・5,700円+税
参考書		ベッドサイド神経の診かた第17版	田崎義昭 他	南山堂	2010・7,560円
		病気がみえる Vol.7 脳・神経	医療情報科学研究所	株式会社 メディックメディア	2011・3,800円+税
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
単位修得規程の出席条件に満たないものは、本科目試験の受験は不可とする。 授業時の態度、実技試験、筆記試験の総合評価とする		動きやすい服装で参加すること			